

認知症に関する市民意識調査票

■回答方法

本調査の回答方法は、調査票に直接ご記入のうえ郵送にて回答する方法と、パソコン・スマートフォンなどによりWEBにて回答する方法の2種類があります。いずれか一方でお答えください。

●郵送で回答する場合

- ・黒い鉛筆もしくはボールペンで、あてはまる項目に ☒ (チェック) をつけてください。一部の質問は記述式になります。
- ・すべての記入が終わりましたら、この調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要・福祉政策課宛)に入れて郵便ポストに投函してください。(期限:令和7年3月24日)
- ・調査票・返信用封筒には氏名や住所を記入しないでください。

●WEBで回答する場合

- ・右記のQRコードを読み込むか、下記のURLにアクセスしてください。
- なお、WEBで回答された場合は、郵送での回答はしないでください。

URL: <https://logoform.jp/form/p6et/873632>



- ・WEBにて回答される場合、最初に下記のIDをご入力いただく必要があります。
- このIDは同一人による二重回答を防止するためのもので個人は特定されません。

I D:

■回答にあたってのお願い

- ・回答にあたっては、質問項目について、一般論ではなく、思ったことを率直にお答えくださいますよう、お願いいたします。
- ・質問によって、「回答は1つ」「複数回答可」など、☒ をつける数が異なる場合がありますので、ご注意ください。
- ・答えにくい質問には、お答えいただかなくても構いません。

■本調査についてのお問い合わせ先

奈良市役所 福祉政策課 (受付:平日 午前9時～午後5時)
電話番号:0742-34-5196

奈良市福祉部福祉政策課

0. 回答者の属性について

○ あなたの年代を教えてください。

☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代

○ あなたの性別を教えてください。

☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない

1. 認知症基本法や「新しい認知症観」について

① 令和6年1月1日に「認知症基本法^{※1}」が施行されたことを知っていますか。

- ☐ 知っているし、内容も理解している
- ☐ 知っているが、内容はわからない
- ☐ 知らなかった
- ☐ 回答しない

※1 令和6年1月1日に、認知症基本法が施行され、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会(=共生社会)の実現を目指していくことが示されました。

② 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観^{※2}」についてお尋ねします。

「認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」と思いますか。

- ☐ そう思う
- ☐ どちらかと言えばそう思う
- ☐ どちらかと言えばそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ 回答しない

※² 新しい認知症観:認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方

③ 上記(②)の回答の理由を教えてください。(自由記述)

--

④ 認知症をどれくらい身近に感じていますか。

- ☐ とても身近に感じている
- ☐ ある程度身近に感じている
- ☐ あまり身近に感じていない
- ☐ 全く身近に感じていない、自分や周りの人達には関係ない
- ☐ 回答しない

⑤ 認知症について知りたい、学びたいと思いますか。

- ☐ 思う
- ☐ どちらかというと思う
- ☐ どちらかというと思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ 回答しない

⑥ 上記(⑤)で「思う」「どちらかというと思う」と回答された方にお尋ねします。認知症に関するどのようなことを知りたい、学びたいと思いますか。(複数選択可)

- ☐ 認知症の症状について
- ☐ 認知症の人への対応について
- ☐ 介護の方法について
- ☐ 利用できる介護サービスや制度について
- ☐ 施設や事業所の情報について
- ☐ 権利擁護支援(自分のことを自分で決めたり伝えることが難しくなったときへの備えなど)について
- ☐ 認知症の予防について
- ☐ 社会参加や活動の場について
- ☐ 認知症の人の気持ちや思いについて
- ☐ その他()
- ☐ 回答しない

2. 認知症に関する知識について

認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで、認知機能（記憶する、言葉を使用する、情報を分析する、問題を解決する等）が低下し、さまざまな生活のしづらさが現れる状態をいいます。高齢になるほど発病率が高くなりますが、64歳未満の若年のうちに発病するケースもあります。

⑦ 認知症には、「アルツハイマー型認知症」をはじめ、「脳血管性認知症」、「レビー小体型認知症」、「前頭側頭型認知症」といった、原因や症状が異なる複数の種類があることを知っていますか。

- ☐ 知っており、それぞれの違いも理解している
- ☐ 聞いたことはあるが、それぞれの違いはわからない
- ☐ 知らなかった
- ☐ 回答しない

⑧ 認知症の症状は、「中核症状※³」と「行動・心理症状(BPSD)※⁴」の2種類があることを知っていましたか？

- ☐ 知っていた
- ☐ 聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった
- ☐ 知らなかった
- ☐ 回答しない

※³ 中核症状：脳の細胞が壊れることによって働きが悪くなった結果、直接起こる症状。もの忘れ等の記憶障害、見当識障害（時間や場所が分からなくなる）、理解・判断力の低下など。

※⁴ 行動・診療症状：何らかの体調不良や、不適切な介護や環境、介護者の介護ストレスなど様々な原因が複雑に絡みあうことで、本人の不安や心身のストレスがたまり起こる症状。暴言・暴力、うつ状態・不安、幻覚、妄想、ひとり歩きなど。

- ⑨ 認知症の発症には、「高血圧」「糖尿病」「脂質異常症」等の生活習慣や病気が深く関係しており、脳に刺激を与える活動的な生活を心がけ、生活習慣病を予防すること※⁵が大切であるとされていることを知っていましたか。

- ☐ 知っていた
☐ 聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった
☐ 知らなかった
☐ 回答しない

※⁵ 生活習慣病の予防に効果的なこと：ウォーキングや体操などの有酸素運動、栄養バランスのとれた食事、健康診断を受けること（年1回以上）・かかりつけ医を持つこと、適量の飲酒、禁煙、歯磨きなどの口腔ケアをきちんと行うことなど

- ⑩ 認知症は他の病気と同様、早期診断と早期対応が大切な病気です。早期発見により、以下のメリットがあるとされていますが、知っていたことを教えてください。（複数選択可）

- ☐ これからの生活について考え、備えることができる
症状が軽いうちに、これからの生活について考え、家族などの大切な人と話し合い、準備することができます。
- ☐ 治せるタイプの認知症がある
認知症の原因となる病気にはいろいろなものがありますが、早期発見できれば、治療することで完治できる病気があります。
（治る認知症の原因とされる代表的な病気：正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症 など）
- ☐ 病気の進み方を抑えられる可能性がある
早期に治療を開始することで、病気の進行を遅らせたり、症状を緩和できる可能性があります。
- ☐ いずれも知らなかった
- ☐ 回答しない

（設問⑤～⑧は、奈良市認知症ケアパス「知ってあんしん認知症」を参考に作成しています）

- ⑪ 日本における認知症支援に関するシンボルカラーはオレンジ色であることを知っていましたか。

- ☐ 知っていた
☐ 知らなかった
☐ 回答しない

3. 認知症の人と関わった経験や接点について

⑫ あなたは今までに認知症の人もしくは認知症と思われる人と接したことがありますか。

(注 ご自身が認知症であると診断されている場合は、「ある」を選択してください。)

- ☐ ある
- ☐ ない
- ☐ わからない
- ☐ 回答しない

⑬ 上記(⑫)で、「ある」と回答された方にお尋ねします。認知症の人もしくは認知症と思われる人と接したのはどのような場面や状況ですか。(複数選択可)

- ☐ 自身が認知症である
- ☐ 家族にいる(いた)
- ☐ 親戚にいる(いた)
- ☐ 近所付き合いのなかで接したことがある
- ☐ 医療・介護の現場で働いている(いた)ため、接したことがある
- ☐ 医療・介護の現場以外の仕事を通じて、接したことがある
- ☐ 街中や公共交通機関などで見かけたことがある
- ☐ 街中や公共機関などで困っていたので声をかけたことがある
- ☐ わからない
- ☐ その他()
- ☐ 回答しない

4. 自分や身近な人が認知症になったら

以下の質問項目は、自分や家族が「認知症になったら」と仮定しお答えいただくものです。
現在、自身や家族が認知症である場合は、現在の心境に近いと思われる項目を選択してください。

⑭ もしあなたが、自分のことを「認知症かもしれない」と思ったり、周りの人から受診を勧められたら、医療機関を受診すると思いますか。

- ☐ 受診と思う
- ☐ 受診しないと思う
- ☐ まだわからない
- ☐ 回答しない

⑮ 上記(⑭)の回答の理由を教えてください。(自由記述)

⑯ 上記(⑭)で「受診と思う」と回答された方にお尋ねします。結果の告知を受けたいと思いますか。

- ☐ そう思う
- ☐ どちらかというと思う
- ☐ どちらかというと思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ 回答しない

⑰ もし、あなたの家族や身近な人について、「認知症かもしれない」と思ったとき、あなたは医療機関への受診を勧めることができますか。

- ☐ できると思う
☐ できないと思う
☐ まだわからない
☐ 回答しない

⑱ 上記(⑰)で「できると思う」、「できないと思う」と選択された方にお尋ねします。回答の理由を教えてください。(自由記述)

⑲ もし、あなたや家族などの大切な人が認知症になったら、あなたはどのようなことに心配や不安を感じますか。次のそれぞれの場合について、あてはまるものを全て選択してください。(複数選択可)

自分が認知症になったら	家族などの大切な人が認知症になったら
☐ 身近な人への身体的・精神的な負担について	☐ 身近な人への身体的・精神的な負担について
☐ 頼れる人の存在について	☐ 頼れる人の存在について
☐ 認知症に関する相談場所について	☐ 認知症に関する相談場所について
☐ 友人との交流や趣味などの活動の継続について	☐ 友人との交流や趣味などの活動の継続について
☐ 経済状況について	☐ 経済状況について
☐ 就労の継続について	☐ 就労の継続について
☐ 現在の住居での生活の継続について	☐ 現在の住居での生活の継続について
☐ これからの症状や病気の進行について	☐ これからの症状や病気の進行について
☐ 詐欺被害について	☐ 詐欺被害について
☐ その他 ()	☐ その他 ()
☐ 特にない	☐ 特にない
☐ 回答しない	☐ 回答しない

(注)「家族などの大切な人が認知症になったら」については、そのことにより、ご家族などの大切な人ではなく、ご自身の生活にどのような影響があるか、という視点でお考え下さい。

⑳ 自分や大切な人が認知症になったとしても、安心して、希望を持って暮らし続けることができるために大切だと思うことを教えてください。（複数選択可）

- ☐ 職場や学校、近所など、周りの人が認知症を正しく理解し、温かく見守ってくれること
- ☐ これまでと変わらず、大切な人や信頼できる人がそばにいること
- ☐ 利用できる医療・介護サービスの内容や費用、制度などを十分に理解し、今後の生活のイメージや見通しをつけることができること
- ☐ 認知症のことや介護のことなど、悩んだときには話を受け止め、一緒に考え、寄り添ってくれる支援者がいること
- ☐ 同じ立場の仲間同士が気軽に集い、交流できる場所があること
- ☐ 趣味やこれまで続けてきたことなど、自分のやりたいことを続けるためのサポートがあること
- ☐ その他()
- ☐ 特にない
- ☐ わからない
- ☐ 回答しない

㉑ もしあなたが認知症になったとしたら、友人や近隣の人、職場の人に認知症であることを伝えようと思いますか。次のそれぞれについて、あてはまるものを選択してください。

友人に対して	近隣の人に対して	職場の人に対して
☐ 積極的に伝えようと思う	☐ 積極的に伝えようと思う	☐ 積極的に伝えようと思う
☐ 必要に応じて伝えようと思う	☐ 必要に応じて伝えようと思う	☐ 必要に応じて伝えようと思う
☐ 伝えようとは思わない	☐ 伝えようとは思わない	☐ 伝えようとは思わない
☐ まだわからない	☐ まだわからない	☐ まだわからない
☐ 回答しない	☐ 回答しない	☐ 回答しない

㉒ 上記(㉑)の回答の理由を教えてください。（自由記述）

- ②③ もしあなたの家族などの身近な人が認知症になったとしたら、友人や近隣の人、職場の人に、家族などの身近な人が認知症であることを伝えようと思いますか。次のそれぞれについて、あてはまるものを選択してください。

友人に対して	近隣の人に対して	職場の人に対して
☐ 積極的に伝えようと思う	☐ 積極的に伝えようと思う	☐ 積極的に伝えようと思う
☐ 必要に応じて伝えようと思う	☐ 必要に応じて伝えようと思う	☐ 必要に応じて伝えようと思う
☐ 伝えようとは思わない	☐ 伝えようとは思わない	☐ 伝えようとは思わない
☐ まだわからない	☐ まだわからない	☐ まだわからない
☐ 回答しない	☐ 回答しない	☐ 回答しない

- ②④ 上記(②③)の回答の理由を教えてください。(自由記述)

- ②⑤ 自らの考えや思いを伝えられなくなったときに備えて、「大切にしていること」や「望む医療やケア(介護など)」について、エンディングノート※⁶などに記録したり、家族や大切な人と話し合っ※⁷ておいたりすることは大切だと思いますか。次のそれぞれについて、あてはまるものを選択してください。

自分のこと	家族などのこと
☐ 大切だと思うし、話し合っている	☐ 大切だと思うし、話し合っている
☐ 大切だと思うが、話し合っていない	☐ 大切だと思うが、話し合っていない
☐ 大切だと思わないが、話し合っている	☐ 大切だと思わないが、話し合っている
☐ 大切だと思わないし、話し合っていない	☐ 大切だと思わないし、話し合っていない
☐ 回答しない	☐ 回答しない

※⁶ 奈良市では令和3年4月より、エンディングノート「わたしの未来ノート～おもいをあなたに伝えたい～」を作成・発行しています。市役所や地域包括支援センターなどの窓口で配布しているほか、ホームページからもダウンロードしていただけます。

※⁷ 「もしものとき」に備えて、大切にしていることや、どこでどのような医療やケアを望んでいるかなどについて、自分自身で考え、信頼している人たちと話し合い共有することを「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」といいます。

5. 奈良市の認知症に関する取り組みについて

②⑥ 奈良市が実施する認知症に関する取り組みのなかで、知っているもの、聞いたことがあるものを選択してください。(複数選択可)

- ☐ 安心・安全“なら”見守りネットワーク(協定協力事業)
- ☐ 安心・安全“なら”見守りネットワーク(事前登録制度)
- ☐ GPS 端末利用にかかる初期費用助成
- ☐ 認知症サポーター養成講座
- ☐ 認知症初期集中支援事業
- ☐ 認知症相談窓口(毎週月・木曜日)
- ☐ 認知症地域支援推進員による相談
- ☐ 認知症ケアパス(認知症に関するガイドブック)
- ☐ 認知症の気づきチェックリスト
- ☐ 認知症カフェ
- ☐ 認知症本人ミーティング
- ☐ その他()
- ☐ 知っているものはない
- ☐ 回答しない

②⑦ 奈良市や地域で実施する認知症に関する講座やイベントに、参加者として参加してみたいと思いますか。あてはまるものを選択してください。

- ☐ そう思う
- ☐ どちらかというと思う
- ☐ どちらかというと思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ 回答しない

- ⑳ 奈良市や地域が実施する、もしくは実施を検討している認知症に関する取り組みに、企画・運営として参加してみたいと思いますか。次のそれぞれについて、あてはまるものを選択してください。

市や地域が実施する取り組みへの運営としての参加について (認知症カフェのボランティアなど)	市や地域が実施を検討する取り組みへの企画段階からの参画について
☐ そう思う	☐ そう思う
☐ どちらかというと思う	☐ どちらかというと思う
☐ どちらかというと思わない	☐ どちらかというと思わない
☐ そう思わない	☐ そう思わない
☐ 回答しない	☐ 回答しない

- ㉑ 奈良市の認知症に関する取り組みへのご意見、認知症について感じていること・考えていることなど、何でもご自由にお書きください。(自由記述)

■■■■以上で意識調査は終了です。ご協力、ありがとうございました。■■■■